リピーター続出の人気企画 寄せ植え教室を開催しました

7月9日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「夏を楽しむ寄せ植え教室」を開催しました。講師は、樹木医の鈴木俊行さん。植物の特徴や、手入れの仕方など、豊富な知識を軽妙なトークで教えてくださいます。

感染症対策を行いながら、30人が受講しました。高さのある鉢に、「ホスタ レモンライム」「赤花オケラ」「アジュガ ピンクライトニング」の3種を植え込み、夏を涼やかに彩る寄せ植えを、それぞれに仕上げていました。

高さを生かしすっきりとまとめられた寄せ植え（左の写真）。熱心にそして楽しそうに寄せ植えに取り組んだ皆さんは、すでに次回が待ち遠しい様子

ラオス・ドンニャイ村に 集会所が完成しました

震災前から交流が続くラオスのドンニャイ村に待望の集会所が完成しました。この建設には、『いいたて希望の里学園』のホストタウンプロジェクトによる寄付や、村からの寄付金が活用されています。この交流をつなぐ『アジア教育友好協会』には、現地から「待ちに待った建物ができてうれしい」と感謝の声が届いています。完成した施設は、ドンニャイ村が属するラオガム郡のワクチン接種会場として早速役立てられます。また地域活動や学校行事などにも使用されるということです。

地域の人も建設作業に加わり完成した集会所の愛称は『DAIC』。希望の里学園の生徒が名付けた『Dongnyai And Iitate Communityhall（ドンニャイ アンド いいたて コミュニティホール）』の頭文字です。

東北楽天イーグルスから 応援のキャップが届きました

プロ野球チーム『東北楽天ゴールデンイーグルス』が6月に実施した『がんばろう東北シリーズ』。震災を風化させず、東北から元気を発信するために始まったこのシリーズは10回目を迎えました。シリーズ中には、東北227市町村名のロゴ入りキャップを、選手・監督・コーチが着用しました。飯舘村のロゴを背負ってくれたのは、鈴木大地選手（内野手・背番号7）。8月4日に球団関係者が来庁し、鈴木選手の実着サイン入りキャップと写真パネルを村に寄贈していただきました。

髙橋副村長(左)が球団広報部の小池聡さん(右)からキャップと写真パネルを受け取りました

村は、村主催のイベントや村民の皆さんの取り組みを取材し、広報紙・ホームページ等に掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、村づくり推進課企画係までご連絡ください。

16人の元消防団員へ 村から感謝を伝えます

最前列左から２人目が菊池さん、３人目が井上さん。多年にわたるご尽力ありがとうございました

7月28日、飯舘村地域防災センターで、「飯舘村消防団退職報償金交付式」が行われました。退職報償金は、5年以上勤務して退職した消防団員の、多年の功績に報いるための功労金です。交付式では、対象の16人の元消防団員を代表して、元第二分団長の菊池昇さん（蕨平）、元第二分団第九部部長の井上潤一さん（前田）へ、杉岡村長が感謝状と共に手渡しました。赤石澤傳団長（飯樋町）は、「活動で得た知識を生活の中で活用していただきたい」と述べました。

村内関連企業が協力 「道の日」に合わせ清掃活動

二枚橋地区での活動の様子。暑い中、感染症対策も行いながら清掃を実施しました

「道路ふれあい月間」と8月10日の「道の日」に合わせて、毎年この時期に、各地で道路の清掃活動が行われています。村では、8月6日に、相双建設事務所と地元企業、村の関連部署などが協力して、県道原町川俣線で、清掃奉仕作業を行いました。

当日は、約50人が参加し、交流センター「ふれ愛館」にて出発式を行い、4班に分かれて清掃活動をスタート。安全確保に気を配りながら、路上や道路脇のゴミを丁寧に拾い集めました。

『ファンズ』移動スーパーが 道の駅で生鮮食品を試験販売

８月21日の様子。通常の移動販売も担当する蓮尾啓司さんが移動スーパーの店頭に立ちます

『いいたて村の道の駅までい館』で、スーパーマーケット『ファンズ』川俣店の移動スーパーによる生鮮食品の試験販売を行っています。販売は8月7日にスタートし、お盆期間の週末は2日連続で。以降も土曜日ごとに正午からの試験販売を行っていて、検証の結果を、買い物環境の向上につなげていきます。品揃えの豊富な移動スーパーですが、この試験販売では、肉や魚などの生鮮食品のみを扱い、『ファンズ』の店頭と同じ価格で販売しています。ぜひご活用ください。